

本 会 記 事

一般社団法人日本植物病理学会令和5年度第1回評議員会議事録

日 時：令和5年2月10日（金）

開催方法：メール審議

出席者：

青木孝之, 秋光和也, 有江 力, 磯貝雅道, 一瀬勇規, 岩井 久, 岩波 徹, 大島一里, 大島研郎, 大藤泰雄, 金山晋治, 兼松聡子, 菊武和彦, 北 宜裕, 久保康之, 児玉基一朗, 小林括平, 近藤則夫, 佐藤 衛, 塩見 寛, 宍戸雅宏, 志村華子, 須賀晴久, 鈴木信弘, 高垣真喜一, 高野義孝, 高橋英樹, 瀧川雄一, 竹下 稔, 竹本大吾, 中馬いづみ, 柘植尚志, 津田新哉, 東条元昭, 土佐幸雄, 中島 隆, 中島千晴, 中保一浩, 長谷 修, 濱本 宏, 曳地康史, 藤 晋一, 古屋成人, 堀田治邦, 眞岡哲夫, 三瀬和之, 守川俊幸, 森山裕充, 山次康幸, 吉田重信, 渡辺京子, 増田 税会長, 平塚和之副会長, 宮田伸一庶務幹事長

以上評議員 54 名（定員 54 名）

幹事：大里修一庶務副幹事長, 晝間 敬会計幹事, 煉谷裕太郎副会計幹事, 藤川貴史庶務幹事, 石橋和大庶務幹事

一般社団法人日本植物病理学会の令和5年度定時総会を令和5年度大会（3月27～29日）に合わせ開催するために、短期間で評議員会を開催し総会招集方法ならびに議題について審議したうえで、理事会で承認することが求められている。そこで時間的な制限に鑑み、メール持ち回り審議（2月6日発送, 2月10日回答期限）により評議員会が開催された。

審議事項

1. 総会開催方法について

令和5年度大会がオンライン開催されることや新型コロナウイルス感染症の拡大阻止の観点から、一昨年、昨年同様にオンラインでの定時総会をウェビナー形式で開催することについて、異議はなく承認可決された。

2. 総会招集方法について

昨年度と同じく、電磁的方法（EmailあるいはFAX）による委任状ならびに議決権を行使することについて、異議はなく承認可決された。上記手続きに必要な総会招集通知、委任状および議決権行使書の内容について、異議はなく承認可決された。

3. 定時総会参考書類ならびに総会決議事項について

定時総会における決議事項（第1～3号議案）および令和4年度第3回評議員会でお認めいただいた報告事項を含む定時総会参考資料について、異議はなく承認可決された。

4. ホームページ上でのバナー広告の掲載などについて

新会員区分（会報のウェブ講読のみ）の適用による日植病報の発行部数減少にともなう広告主への対応についての検討状況ならびに今後の方針について、異議はなく承認可決された。

5. 第34回国際生物科学連合総会の共催申請について

表記会合の当学会への共催申請について、異議はなく承認可決された。

一般社団法人日本植物病理学会令和5年度第1回理事会議事録

日 時：令和5年2月16日（木）10:00～10:45

開催方法：オンライン開催（Zoom ミーティング）

出席者：

理事：増田 税, 平塚和之, 有江 力, 一瀬勇規, 中島 隆, 高橋英樹, 高野義孝, 眞岡哲夫

以上理事 8 名（現員 10 名, 欠席者 2 名, 瀧川雄一, 竹下 稔）

監事：濱本 宏, 大島研郎, 渡辺京子

以上監事 3 名（現員 3 名, 欠席者 0 名）

オブザーバー：宮田伸一, 晝間 敬, 石橋和大（幹事 3 名）

審議事項

第1号議案 令和4年度第3回理事会議事録（案）の確認について

第2号議案 令和5年度定時総会通知, 委任状, 議決権行使書（案）について

第3号議案 令和5年度定時総会参考資料（案）について

第4号議案 日植病報の広告効果減少に際する広告主への対応について

第5号議案 その他

議事経過の概要

定刻に理事 8 名, 監事 3 名が参加していることを確認した。定款第32条により、増田 税会長が議長となった。理事および監事の出席数から、定款33条の規定を満たしており、本会の成立を報告した。続けて議長は、本理事会はテレビ会議システム（オンライン会議システム）を用いて

開催することを説明し、かつ出席者の映像及び音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な審議を行うことができる状態となっていることが確認された。

1. 令和 4 年度第 3 回理事会議事録の確認

議長長の指示により、オブザーバーの宮田庶務幹事長から前回となる令和 4 年度第 3 回理事会の議事録（案）の読み上げならびに説明が行われた。議長が本件について承認を求めたところ、全員異議なく、本件は承認可決された。

2. 令和 5 年度 定時総会通知、委任状、議決権行使書（案）について

議長より、令和 5 年度の定時総会について、招集通知、委任状および議決権行使書のそれぞれの案が説明された。本定時総会は昨年と同様、大会初日にオンライン開催されること、当日は少数の会場出席者、理事を中心としたオンライン出席者の他は、委任状および議決権行使書によって決議に参加する方式となること、委任状等は書面並びに電磁的手法によって提出されることについて、議長より理事会での承認を求めたところ、全員異議なく、本件は承認可決された。

3. 令和 5 年度定時総会参考資料（案）について

議長長の指示により、オブザーバーの宮田庶務幹事長および晝間会計幹事から定時総会参考資料（案）のうち、前回の理事会で未承認であった議案 1（令和 4 年度事業報告および会計報告）、議案 2（大会規程の改正案）および議案 3（令和 5 年度役員を選任）について説明が行われた。議長が本件について承認を求めたところ、全員異議なく、本件は承認可決された。

4. 日植病報の広告効果減少に際する広告主への対応について

議長長の指示により、オブザーバーの宮田庶務幹事長から、学会誌の発行部数削減に伴い賛助会員等の広告効果の減少を補う必要があること等から、学会ホームページへのバナー広告導入を進めていることが報告された。議長が本件について承認を求めたところ、全員異議なく、本件は承認可決された。

5. その他、報告事項について

用意された議題のほか、議長から日韓シンポジウムの動きが再開し始めていることおよび日本農学賞選考会が 2 月 11 日に開催されたことおよび各監事より内部監査について報告が行われた。

以上をもって、終始異状なく議事が終了したので、議長は閉会を宣言し、10:45 に散会した。

上記の事項を明確にするため、議長が本議事録を作成し、

出席代表理事 2 名および監事 3 名の全員がこれに記名押印する。

令和 5 年 2 月 16 日

一般社団法人 日本植物病理学会

代表理事（会長） 増田 税

代表理事（副会長） 平塚和之

監事 濱本 宏

監事 三田（渡辺）京子

監事 大島研郎

一般社団法人日本植物病理学会令和 5 年度定時総会議事録

1. 開催日時：令和 5 年 3 月 27 日（月）午前 9:00～

2. 開催場所：日本植物防疫協会会議室

〒114-0015 東京都北区中里 2-28-10

3. 個人会員（社員）数 現在 1,242 名

書面による出席の個人会員（社員）数 336 名

うち、委任状提出 300 名

議決権行使書提出 36 名

4. 出席者

本総会は、定款第 18 条に定める委任状による代理出席および令和 5 年度第 1 回理事会（令和 5 年 2 月 16 日開催）において決定された書面並びに電磁的方法による議決権行使による運営を原則とし、議長、議事の運営を担当する者、理事 1 名及び監事 2 名を会場における実出席者、その他の理事、監事及び議事の運営を担当する者を Web 会議（テレビ会議システムを用いた遠隔地からの出席方法をいう。以下同じ。）による出席者として議事説明を行い、その模様を Web 中継により公開した。

（役員：現員は理事 10 名、監事 3 名）

会場で参加した理事：増田 税（会長）、平塚和之（副会長）

会場で参加した監事：濱本 宏、大島研郎

Web 会議で出席した理事：高橋英樹、眞岡哲夫、中島 隆、有江 力、瀧川雄一、高野義孝、一瀬勇規、竹下 稔

Web 会議で出席した監事：三田（渡辺）京子

（議事運営を担当した会員）

会場で参加した会員：宮田伸一（学会庶務幹事長）、大里修一（庶務副幹事長）、晝間 敬（会計幹事）、藤川貴史（庶務幹事）、石橋和大（庶務幹事）、染谷信孝（次期庶務副幹事長）

Web 会議で出席した会員：煉谷裕太郎（副会計幹事）

5. 決議事項

第 1 号議案 令和 4 年度 事業報告ならびに会計報告（案）

承認の件

第2号議案 大会規程の一部改正(案)承認の件

第3号議案 令和5年度役員(理事)選任の件

6. 報告事項

第1号 令和5年度事業計画書ならびに収支予算書

7. 議事経過の概要

1) 定足数の確認等

Web会議に出席の理事8名、監事1名および議事運営を担当する会員1名について、システム上に問題なく、Web会議による出席者の映像及び音声が即時に他の出席者に伝わりかつ出席者が一堂に会すると同等の相互に十分な審議を行うことができる状態となっていることを確認した。宮田庶務幹事長が委任状、議決権行使書を含む定足数の充足を確認し、本会議の議事進行および議案資料について説明した。

2) 議案の審議状況および議決結果等

定款第16条の規定により、増田 税会長が議長となった。挨拶の後、書面ならびに電磁的方法による出席の個人会員数が336名、会場の10名と合わせて346名となり、定款第18条に定める個人会員数の1/20である63名以上の出席を得たことを報告し、本会の成立を宣言した。

議長は議事録署名人として、大里庶務副幹事長を指名した。

(決議事項)

第1号議案 令和4年度事業報告ならびに会計報告(案)承認の件

議長の指名により宮田庶務幹事長が、令和4年度事業報告書の内容を説明した。会員数、学会報出版状況、総会・委員会等開催状況、大会・部会・研究会等開催状況、功績者推挙、学会賞等の授賞、副会長候補者選出選挙の結果等について報告した。

続いて、議長の指名により晝間会計幹事が、令和4年度会計報告の内容を説明した。収支計算書および計算書類(正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録)を基に、事業の開催形態の変更等に伴い事業活動支出計が当初予算より、5,524,160円減となったことなど、令和4年度決算の概要を報告した。

次いで、議長の指名により大島監事が、令和4年度事業報告ならびに会計報告について、監事3名(濱本監事、渡辺監事および大島監事)により監査した結果、両報告の内容は正確かつ妥当であり、理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実とは認められなかった旨を報告した。

最後に、議長の指名により高橋理事が、令和4年度学

会報編集報告の内容を説明した。編集計画通り、英文誌6号、和文誌4号を発行した旨を報告した。

議長は第1号議案について、出席者336名全員が賛成の意を示したことから、第1号議案が原案通り可決したことを説明した。

第2号議案 大会規程の一部改正(案)承認の件

議長の指名により宮田庶務幹事長が、当会が平成2年4月1日に一般社団法人化したことにより、一般社団法人法に従って適切に運営するためには社員総会たる定時総会の開催時期が実質3月末日に限定されてしまうこと、一方、当会の大会は開催地の運営委員会の裁量に任せられ年度ごとに変動があること等から、定時総会と大会の分離開催を可能とすることを目的とし大会規程第2条第3項の一部改正を行うこととした旨を報告した。

議長は第2号議案について、出席者336名の議決権の過半数をもって賛成の意を示したことから、第2号議案が原案通り可決したことを説明した。

第3号議案 令和5年度役員(理事)選任の件

議長は、定款第25条の規定により、当法人の理事が本定時総会の終結をもって任期満了となり退任するため、その後任理事を選任する必要がある旨を述べ、役員候補者選出規程に基づき、以下に記載の10名がこの後任理事候補者であることを報告した。

(1) 役員候補者選出規程第3条の規定による「理事候補者(次期会長候補者)」

平塚和之

(2) 役員候補者選出規程第4条の規定による「理事候補者(次期副会長候補者)」

一瀬勇規

(3) 役員候補者選出規程第2条第2項の規定による「理事候補者」

増田 税、高橋英樹、眞岡哲夫、中島 隆、有江力、瀧川雄一、高野義孝、竹下 稔

議長は第3号議案について、候補者全員の一人ひとりについて、出席者336名の議決権の過半数をもって賛成の意を示したことから、第4号議案が原案通り可決したことを説明した。続いて、当該被選任者10名が、それぞれ席上就任を承諾する旨を述べ、理事の選任が確定した。

(報告事項)

第1号 令和5年度事業計画書ならびに収支予算書

議長より、令和5年度事業計画書ならびに収支予算書は、令和4年11月19日開催の令和4年度第3回理事会にて承認され、成立したことが報告された。

議長の指名により、令和5年度事業計画書については

大里庶務副幹事長から、収支予算書については煉谷副会
計幹事から、学会報編集計画案については高橋理事より
概要が報告された。

議長は、以上をもって一部 Web 会議を使用した本総
会には終始異状無く本日の議事を終了したことを述べ、午
前 9:35 閉会した。

以上の議事が正確であることを証するため、議長が本議
事録を作成し、定款第 19 条の規定により、議長および議
事録署名人が記名押印する。

令和 5 年 3 月 27 日

一般社団法人 日本植物病理学会
議長・議事録作成者 増田 税 ㊟
議事録署名人 大里修一 ㊟

一般社団法人日本植物病理学会令和 5 年度定時総会参考資料
第 1 号議案 令和 4 年度 事業報告ならびに会計報告(案)
(令和 5 年度事業は斜体 (参考))

1. 事業報告

- (1) 会員数 計 1,644 名 (令和 4 年 1 月 1 日現在)
名誉会員 38 名 / 永年会員 67 名 / 正会員 1,074 名 (内
外国会員 8 名) / 学生会員 237 名 / 学部生会員 28 名
/ 準会員 98 団体 / 賛助会員 39 社 (102 口)
(令和 3 年 1 月 1 日当時 : 会員数 1,754 名)

(2) 会員のご逝去

- 鈴木孝仁氏 令和 4 年 1 月 9 日
- 小坂橋基夫氏 令和 4 年 4 月 5 日
- 小金澤碩城氏 令和 4 年 4 月 16 日
- 上杉康彦氏 令和 4 年 4 月 28 日
- 松田安男氏 令和 4 年 5 月 26 日
- 小林享夫氏 令和 4 年 6 月 17 日
- 荒井 啓氏 令和 4 年 12 月 3 日
- 山口 昭氏 令和 5 年 1 月 24 日

(3) 学会報編集データ

- 発行部数 英文誌 : 第 88 卷 1~6 号 各 1,700 部
(計 10,200 部)
- 和文誌 : 第 88 卷 1~2 号 各 1,780 部
(計 3,560 部)
- 第 88 卷 3~4 号 各 1,750 部
(計 3,500 部)
- 頒布部数 英文誌 : 国内 (1~6 号) 各 1,524 部
(計 9,144 部)

国外 (1~6 号) 各 40 部
(計 240 部)
計 各 1,564 部
(計 9,384 部)

[内 国外交換 25 / 国外寄贈 4 / 名誉会員 31 / 永年会員 5 /
賛助会員 60 / 準会員 98 / (計 223)]

和文誌 : 国内 (1~4 号) 各 1,596 部
(計 6,384 部)

国外 (1~4 号) 各 40 部
(計 160 部)

計 各 1,636 部
(計 6,544 部)

[内 国内交換 5 / 国内寄贈 8 / 広告主 4 / 名誉会員 31 / 永
年会員 61 / 賛助会員 60 / 準会員 98 / (計 267)]

(4) 総会・役員会

- 令和 4 年度第 1 回評議員会 令和 4 年 2 月 17 日
- 令和 4 年度第 1 回理事会 令和 4 年 2 月 20 日
- 令和 4 年度定時総会 令和 4 年 3 月 27 日
- 令和 4 年度第 2 回理事会 令和 4 年 3 月 27 日
- 令和 4 年度第 2 回評議員会 令和 4 年 3 月 27 日
- 令和 4 年度第 3 回評議員会 令和 4 年 11 月 19 日
- 令和 4 年度第 3 回理事会 令和 4 年 11 月 19 日
- 令和 5 年度第 1 回評議員会 令和 5 年 2 月 10 日
- 令和 5 年度第 1 回理事会 令和 5 年 2 月 16 日

(5) 委員会等開催状況

- 幹事会 令和 4 年 1 月 22 日
- 2 月 5 日
- 3 月 5 日
- 3 月 26 日
- 5 月 21 日
- 7 月 9 日
- 9 月 10 日
- 11 月 5 日
- 令和 5 年 1 月 21 日
- 2 月 4 日
- 3 月 4 日
- 3 月 25 日

- 将来問題検討委員会 令和 4 年 1 月 22 日
- 3 月 5 日
- 3 月 25 日
- 7 月 10 日
- 5 月 21 日
- 7 月 9 日
- 9 月 10 日

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| | 11月 5日 | 第16回バイオコントロール研究会 |
| | 令和5年 2月 4日 | 令和4年3月29日 |
| | 3月 4日 | オンライン開催（農研機構植物防疫研究部門） |
| | 3月25日 | |
| 編集委員会 | 令和4年 1月 5日 | 第31回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム |
| | 3月26日 | 令和4年3月30日 |
| | 令和5年2月開催予定 | オンライン開催（JA全農営農・技術センター） |
| 賞選考委員会 | 令和4年10月17日 | |
| 功績者推薦委員会 | 令和4年 9月23日 | 第14回植物ウイルス病研究会 |
| 選挙管理委員会 | 令和4年10月26日 | 令和4年3月30日 |
| 病名委員会 | 令和4年 3月18日 | オンライン開催（北海道大学） |
| | 令和5年3月開催予定 | |
| 学会ニュース編集委員会 | 令和4年 4月 9日 | 第16回植物病害診断教育プログラム |
| | 7月12日 | 令和4年8月22～26日 |
| | 10月13日 | 秋田県立大学（秋田市） |
| | 令和5年 1月13日 | |
| 技術士対応委員会 | 令和4年 1月21日 | 第56回植物感染生理談話会 |
| | 令和5年2月開催予定 | 令和4年9月5～7日 |
| 5学会技術士育成推進委員会 | 令和4年 1月28日 | 東北大学（仙台市） |
| | 令和5年2月開催予定 | EBC研究会ワークショップ2022 |
| | | 令和4年9月12日 |
| | | オンライン開催（茨城県農業総合センター） |
| (6) 大会開催状況 | | |
| 大会 | 令和4年3月27～29日 オンライン開催（北海道大学） | 第21回植物病原菌類談話会 |
| | 参加者：750名，一般講演：293題 | 令和4年9月17日 |
| | | オンライン開催（法政大学） |
| (7) 部会開催状況 | | 令和4年度植物病害診断研究会 |
| 北海道部会 | 令和4年10月13日 | 令和4年11月7日 |
| | ハイブリッド開催（北海道大学） | オンライン開催（農研機構植物防疫研究部門） |
| | 参加者：67名，一般講演：20題 | |
| 東北部会 | 令和4年9月27～28日 | 第30回土壌伝染病談話会 |
| | コラッセふくしま（福島市） | 令和4年11月11日 |
| | 参加者：68名，一般講演：19題 | オンライン開催（千葉大学） |
| 関東部会 | 令和4年9月15～16日 | 第29回植物細菌病談話会 |
| | オンライン開催（玉川大学） | 令和4年12月3日 |
| | 参加者：147名，一般講演：29題，特別講演：1題 | ハイブリッド開催（法政大学） |
| 関西部会 | 令和4年9月21～22日 | (9) 名誉会員の推挙 |
| | 高知会館（高知市） | 第3回評議員会で，次の方を総会に推挙することが決定された。 |
| | 参加者：212名，一般講演：89題，部会長講演：1題 | 桑田 茂氏 |
| 九州部会 | 令和4年11月16～17日 | (10) 永年会員の推挙 |
| | 鹿児島大学（鹿児島市） | 第3回評議員会で次の方を総会に推挙することが決定された（ABC順）。 |
| | 参加者：52名，一般講演：22題，地域貢献賞受賞講演：1題 | 岩田道顕氏，名畑清信氏，岡本 博氏 |
| (8) 談話会・研究会・教育プログラム等開催状況 | | (11) 令和5年度学会賞 |
| | | 第3回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された |

(ABC 順).

兼松聡子氏 「マイコウイルスを用いた果樹類白紋羽病の制御技術に関する研究」

中屋敷均氏 「いもち病菌のエピジェネティクスと病原性に関する研究」

吉田重信氏 「土壌伝染性病害の予防的管理に関する研究」

(12) 令和 5 年度学術奨励賞

第 3 回評議員会で次の 3 氏に授賞することが決定された

(ABC 順).

藤原和樹氏 「タマネギベと病菌等の病原体の検出・診断技術の開発」

日恵野綾香氏 「土壌伝染性植物病原菌の検出に関する研究」

キム オッキョン氏 「植物ウイルスの同定, 性状解明及び多様性解析」

(13) 令和 5 年度論文賞

第 3 回評議員会で次の 2 件に授賞することが決定された (掲載順).

Nobumitsu Sasaki, Tomoya Murakami, Nanae Yoshimoto, Ken Komatsu, Yasuhiko Matsushita, Hiroshi Nyunoya. Cell-death-independent antiviral response mediated by N resistance factor in *Nicotiana benthamiana* involves inhibited localization of tobamovirus movement protein to

plasmodesmata. *Journal of General Plant Pathology* 87 (3) 170-177 (2021)

Yoshihiro Inoue, Trinh Thi Phuong Vy, Soichiro Asuke, Yoshihiro Matsuoka, Yukio Tosa. Origin of host-specificity resistance genes of common wheat against non-adapted pathotypes of *Pyricularia oryzae* inferred from D-genome diversity in synthetic hexaploid wheat lines. *Journal of General Plant Pathology* 87 (4) 201-208 (2021)

(14) 令和 4 年度日本農学進歩賞, 日本学術振興会賞等の受賞候補者推薦

日本農学進歩賞受賞候補者選考細則等に準じて, 各受賞候補者を推薦した.

(15) 令和 4 年度関連学会等の受賞者

以下の会員が受賞した.

令和 4 年度 (第 21 回) 日本農学進歩賞

岡野夕香里氏 「ウイルス感染時に働く植物免疫抑制因子とその作用機作の解明」

橋本将典氏 「植物の広域ウイルス劣性抵抗性遺伝子の発見とその発現機構の解明」

(16) 令和 5 年度副会長候補者選出選挙

令和 4 年 10 月施行 (開票は 10 月 26 日), 一瀬勇規氏が選出された.

2. 会計報告

(1) 一般会計収支計算書（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	19,869,000	19,049,000	820,000
正会員会費収入	11,900,000	11,205,000	695,000
学生会員会費収入	1,116,000	1,180,000	△ 64,000
学部生会員会費収入	23,000	28,000	△ 5,000
外国会員会費収入	160,000	66,000	94,000
準会員会費収入	1,470,000	1,470,000	0
賛助会員会費収入	5,200,000	5,100,000	100,000
会報刊行収入	6,060,000	6,920,701	△ 860,701
頒布収入	2,440,000	2,418,801	21,199
広告料収入	120,000	110,000	10,000
著者負担金収入	3,500,000	4,391,900	△ 891,900
事業収入	11,911,000	8,593,400	3,317,600
大会運営収入	6,930,000	5,793,000	1,137,000
部会収入	1,511,000	1,190,900	320,100
談話会・研究会収入	2,740,000	829,500	1,910,500
教育プログラム収入	730,000	780,000	△ 50,000
雑収入	252,000	1,278,440	△ 1,026,440
預金利息収入	2,000	1,636	364
雑収入 ※	250,000	1,276,804	△ 1,026,804
事業活動収入計	38,092,000	35,841,541	2,250,459
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	15,240,000	15,511,530	△ 271,530
印刷製本費支出	11,160,000	11,420,743	△ 260,743
編集費支出	4,080,000	4,090,787	△ 10,787
事業支出	13,100,000	8,799,971	4,300,029
大会支出	6,930,000	5,659,465	1,270,535
部会支出	2,140,000	1,535,367	604,633
談話会・研究会支出	3,170,000	987,419	2,182,581
教育プログラム支出	860,000	617,720	242,280
学術奨励関係費支出	730,000	926,785	△ 196,785
国際学術交流費支出	150,000	0	150,000
情報電子化費支出	810,000	743,063	66,937
HP 充実費支出	430,000	369,063	60,937
情報維持費支出	380,000	374,000	6,000
男女共同参画支援費支出	0	2,000	△ 2,000
負担金支出	640,000	577,621	62,379

男女共同参画学協会連絡会負担金支出	10,000	10,000	0
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
日本農学会負担金支出	120,000	113,200	6,800
植物保護科学連合負担金支出	50,000	0	50,000
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金出	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP) 負担金支出	260,000	254,421	5,579
事業運営費支出	1,720,000	734,457	985,543
会議費支出	400,000	69,357	330,643
旅費交通費支出	750,000	245,100	504,900
各種委員会関係費支出	570,000	420,000	150,000
管理費支出	5,129,000	4,699,413	429,587
通信運搬費支出	400,000	227,823	172,177
消耗品費支出	150,000	182,622	△ 32,622
事務管理費支出	3,190,000	3,190,000	0
印刷費支出	99,000	133,848	△ 34,848
外部監査管理費支出	300,000	286,274	13,726
雑支出	990,000	678,846	311,154
事業活動支出計	37,519,000	31,994,840	5,524,160
事業活動収支差額	573,000	3,846,701	△ 3,273,701
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	5,000,000	6,000,000	△ 1,000,000
学術事業安定基金取得支出	5,000,000	5,000,000	0
学術奨励基金取得支出 ※	0	1,000,000	△ 1,000,000
固定資産取得支出	0	726,000	△ 726,000
投資活動支出計	5,000,000	6,726,000	△ 1,726,000
投資活動収支差額	△ 5,000,000	△ 6,726,000	1,726,000
III 財務活動収支の部			
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 4,427,000	△ 2,879,299	△ 1,547,701
前期繰越収支差額	14,683,372	15,475,013	△ 791,641
次期繰越収支差額	10,256,372	12,595,714	△ 2,339,342

※小林享夫氏からのご寄付による雑収入を学術奨励基金に組み込み

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、仮払金、前受金及び預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	20,538,561	16,170,718
未 収 金	1,188,348	1,262,825
前 払 金	254,421	0
仮 払 金	1,000,000	1,000,000
合 計	22,981,330	18,433,543
未 払 金	533,317	747,420
前 受 金	6,973,000	5,072,000
預 り 金	0	3,409
仮 受 金	0	15,000
合 計	7,506,317	5,837,829
次期繰越収支差額	15,475,013	12,595,714

(2) 貸借対照表 (令和4年12月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,170,718	20,538,561	△ 4,367,843
未収金	1,262,825	1,188,348	74,477
前払金	0	254,421	△ 254,421
仮払金	1,000,000	1,000,000	0
流動資産合計	18,433,543	22,981,330	△ 4,547,787
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
学術事業安定化基金	30,021,680	25,021,680	5,000,000
学術奨励基金	19,356,274	18,356,274	1,000,000
国際学術交流基金	13,459,261	13,459,261	0
特定資産合計	62,837,215	56,837,215	6,000,000
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	1,441,550	1,019,517	422,033
その他固定資産合計	1,441,550	1,019,517	422,033
固定資産合計	64,278,765	57,856,732	6,422,033
資産合計	82,712,308	80,838,062	1,874,246
II 負債の部			
1. 流動負債			

未払金	747,420	533,317	214,103
前受金	5,072,000	6,973,000	△ 1,901,000
預り金	3,409	0	3,409
仮受金	15,000	0	15,000
流動負債合計	5,837,829	7,506,317	△ 1,668,488
負債合計	5,837,829	7,506,317	△ 1,668,488
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	76,874,479	73,331,745	3,542,734
正味財産合計	76,874,479	73,331,745	3,542,734
負債及び正味財産合計	82,712,308	80,838,062	1,874,246

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学術事業安定化基金	25,021,680	5,000,000	0	30,021,680
学術奨励基金	18,356,274	1,000,000	0	19,356,274
国際学術交流基金	13,459,261	0	0	13,459,261
合 計	56,837,215	6,000,000	0	62,837,215

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学術事業安定化基金	30,021,680	0	(30,021,680)	0
学術奨励基金	19,356,274	0	(19,356,274)	0
国際学術交流基金	13,459,261	0	(13,459,261)	0
合 計	62,837,215	0	(62,837,215)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア (クレジット機能)	313,500	62,700	135,850	177,650
ソフトウェア (大会システム)	935,000	187,000	342,833	592,167
ソフトウェア (会員区分変更)	506,000	50,600	50,600	455,400
ソフトウェア (大会講演システム)	220,000	3,667	3,667	216,333
合 計	1,974,500	303,967	532,950	1,441,550

(3) 正味財産増減計算書 (令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	19,049,000	19,760,588	△ 711,588
正会員会費	11,205,000	11,755,000	△ 550,000
学生会員会費	1,180,000	1,131,000	49,000
学部生会員会費	28,000	22,000	6,000
外国会員会費	66,000	167,588	△ 101,588
準会員会費	1,470,000	1,485,000	△ 15,000
賛助会員会費	5,100,000	5,200,000	△ 100,000
会報刊行収益	6,920,701	6,716,058	204,643
頒布収益	2,418,801	2,717,507	△ 298,706
広告料収益	110,000	125,000	△ 15,000
著者負担金益	4,391,900	3,873,551	518,349
事業収益	8,593,400	7,174,802	1,418,598
大会運営収入	5,793,000	5,866,802	△ 73,802
部会収入	1,190,900	824,500	366,400
談話会・研究会収入	829,500	483,500	346,000
教育プログラム収入	780,000	0	780,000
雑収益	1,278,440	312,263	966,177
預金利息	1,636	1,611	25
雑収益	1,276,804	310,652	966,152
経常収益計	35,841,541	33,963,711	1,877,830
(2) 経常費用			
会報刊行費	15,511,530	15,018,349	493,181
印刷製本費	11,420,743	11,020,844	399,899
編集費	4,090,787	3,997,505	93,282
事業支出	8,799,971	6,144,877	2,655,094
大会支出	5,659,465	4,505,480	1,153,985

部会支出	1,535,367	1,092,560	442,807
談話会・研究会支出	987,419	546,837	440,582
教育プログラム支出	617,720	0	617,720
学術奨励関係費	926,785	743,700	183,085
情報電子化費	743,063	1,272,625	△ 529,562
HP 充実費	369,063	388,863	△ 19,800
情報維持費	374,000	883,762	△ 509,762
男女共同参画支援費	2,000	0	2,000
負担金	577,621	577,621	0
男女共同参画学協会連絡会負担金	10,000	10,000	0
JABEE 負担金	50,000	50,000	0
日本農学会負担金	113,200	113,200	0
日本微生物学連盟負担金	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPPS) 負担金	254,421	254,421	0
事業運営費	734,457	447,862	286,595
会議費	69,357	18,862	50,495
旅費交通費	245,100	3,100	242,000
各種委員会関係費	420,000	425,900	△ 5,900
管理費	5,003,380	4,923,341	80,039
通信運搬費	227,823	344,841	△ 117,018
消耗品費	182,622	26,162	156,460
事務管理費	3,190,000	3,190,000	0
減価償却費	303,967	218,533	85,434
印刷費	133,848	0	133,848
外部会計監査費	286,274	286,274	0
雑費	678,846	857,531	△ 178,685
経常費用計	32,298,807	29,128,375	3,170,432
評価損益等調整前当期経常増減額	3,542,734	4,835,336	△ 1,292,602
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,542,734	4,835,336	△ 1,292,602
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,542,734	4,835,336	△ 1,292,602
一般正味財産期首残高	73,331,745	68,496,409	4,835,336
一般正味財産期末残高	76,874,479	73,331,745	3,542,734
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	76,874,479	73,331,745	3,542,734

(4) 財産目録 (令和4年12月31日現在)

		(単位：円)	
貸借対照表科目		場所・物量等	金額
(流動資産)			
	現金	手元保管	64,975
	預金	普通預金	15,131,302
		三井住友銀行白山支店	1,613,751
		三菱UFJ銀行駒込支店	4,113,445
		PayPay銀行	6,882,432
		SMBC信託銀行	2,518,623
		ゆうちょ銀行(編集事務局)	3,051
		振替貯金	974,441
	未収金		1,262,825
	仮払金		1,000,000
	総会・大会		1,000,000
流動資産合計			18,433,543
(固定資産)			
特定資産			
	学術事業安定化基金		30,021,680
		三井住友銀行白山支店	6,000,000
		三菱UFJ銀行駒込支店定期	21,964,287
		三井住友銀行白山支店定期	51,393
		PayPay銀行定期	2,006,000
	学術奨励基金		19,356,274
		三井住友銀行白山支店定期	17,027,595
		PayPay銀行定期	2,328,679
	国際学術交流基金		13,459,261
		三井住友銀行白山支店定期	8,446,584
		PayPay銀行定期	5,012,677
その他固定資産			
	ソフトウェア		1,441,550
固定資産合計			64,278,765
資産合計			82,712,308
(流動負債)			
	未払金		747,420
	前受金		5,072,000
	正会員		4,982,000
	学生会員		84,000
	学部生会員		2,000
	外国会員		4,000
	預り金		3,409
	仮受金		15,000
流動負債合計			5,837,829
負債合計			5,837,829
正味財産			76,874,479

3. 監事監査報告

一般社団法人 日本植物病理学会

代表理事（会長） 増 田 税 殿

一般社団法人日本植物病理学会の定款第24条の規定に基づき、令和4年度の事業報告ならびに会計報告、理事の職務遂行について監査を行いましたので、以下の通り報告します。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事および幹事、学会事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めるとともに、会計帳簿又はこれに関する調査等を実施して、当該事業年度における事業、財産等の状況について、調査いたしました。

また、令和4年度当学会収支決算について、令和5年2月1日に岡田事務所 岡田茂公認会計士の監査を受け、計算書類が「我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、日本植物病理学会の令和4年12月31日をもって終了する会計年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。」との監査報告書を受け取りました。

以上に基づき、当該事業年度に係る事業報告ならびに会計報告（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令および定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 会計報告の監査結果

計算書類は、学会の財産および損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和5年2月1日

一般社団法人 日本植物病理学会

監事 濱 本 宏 ㊟

監事 大 島 研 郎 ㊟

監事 渡 辺 京 子 ㊟

4. 学会報編集報告

項 目	ページ数											
	JGPP (英文誌)							日植病報 (和文誌)				
	1号 1月	2号 3月	3号 5月	4号 7月	5号 9月	6号 11月	計	1号 2月	2号 5月	3号 8月	4号 11月	計
[ページ数内]												
総説	—	39 (2)	—	—	—	9 (1)	48 (3)	—	—	—	—	—
テクニク	15 (2)	—	—	—	—	—	15 (2)	—	—	—	—	—
原著論文	71 (9)	17 (3)	46 (6)	45 (7)	38 (5)	41 (6)	258 (36)	26 (3)	24 (3)	10 (1)	10 (1)	70 (8)
短報	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4 (1)	4 (1)
病害短信	—	15 (3)	17 (3)	15 (4)	24 (5)	6 (1)	77 (16)	6 (2)	—	—	4 (1)	10 (3)
論文総ページ	86 (11)	71 (8)	63 (9)	60 (11)	62 (10)	56 (8)	398 (57)	32 (5)	24 (3)	10 (1)	18 (3)	84 (12)
講演要旨 (会長・授賞者)	—	—	—	—	—	23 (7)	23 (7)	—	—	18 (7)	—	18 (7)
講演要旨 (令和4年度大会)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63	—	63
講演要旨 (令和3年度部会)	—	—	—	—	—	—	—	45	—	—	—	45
本会記事	—	—	—	—	—	—	—	9	27	2	2	40
その他	1 (1)	1 (1)	—	1 (1)	—	1 (1)	4 (4)	—	2	—	3	5
計	87 (12)	72 (9)	63 (9)	61 (12)	62 (10)	80 (16)	425 (68)	86 (5)	53 (3)	93 (8)	23 (3)	255 (19)
[ページ数外]												
大会案内・お知らせ	—	—	—	—	—	—	—	8	—	6	2	16
定款・規定	—	—	—	—	—	—	—	36	—	—	—	36
学会ニュース	—	—	—	—	—	—	—	4	3	8	11	26
その他	—	—	—	—	—	—	—	12	10	7	16	45
計	0	0	0	0	0	0	0	60	13	21	29	123
[総計]	87	72	63	61	62	80	425	146	66	114	52	378

() は論文数

第2号議案 大会規程の一部改正(案)承認の件

当法人では、これまで大会と定時総会は大会規程に準じて同時に開催してきましたが、令和2年度に一般社団法人化して以降、総会の開催方法に様々な制約が加わりました。まず、総会は新年度の3月末までに開催する必要があります。その上で、一般社団法人法に定める所定の手続き（最低1か月間の会計集計期間、会計監査、監事監査、評議員会審議、理事会審議、資料の印刷、総会2週間前までの書面による招集通知および総会参考資料の発送等）を適切に実施し、かつ理事会および定時総会を適切に開催するためには、総会の開催時期を事実上3月下旬に固定せざるを得ない状況にあります。一方、大会が開催地域の事情および会場の予約状況等によって3月下旬に開催できない場合、総会と大会を同時開催できない問題が生じます。

そこで今後、総会と大会を別日程で開催することを可能とするために必要な規程の改正を行います。

大会規程

現行	改正(案)
<p>(開催要綱)</p> <p>第2条 大会は研究発表会、講演会などよりなり、次の要綱により開催する。</p> <p>(1) 大会は年1回、原則として3月に3日間開催する。</p> <p>(2) 研究発表会では原則として口頭による発表を行う。</p> <p>(3) 定時総会、新会長講演及び学会賞などの受賞者講演は、大会初日の冒頭に行う。</p> <p>(4) 講演発表できる者は大会の開催年度の学会会費納入済みの別に定める権利を有する日本植物病理学会会員に限る。また発表できる演題は、1人1題までとする。</p> <p>(5) 大会の運営は大会委員長が行う。</p>	<p>(開催要綱)</p> <p>第2条 大会は研究発表会、講演会などよりなり、次の要綱により開催する。</p> <p>(1) 大会は年1回、原則として3月に3日間開催する。</p> <p>(2) 研究発表会では原則として口頭による発表を行う。</p> <p>(3) 定時総会、新会長講演及び学会賞などの受賞者講演を<u>大会期間中に行う場合は</u>、大会初日の冒頭に行う。</p> <p>(4) 講演発表できる者は大会の開催年度の学会会費納入済みの別に定める権利を有する日本植物病理学会会員に限る。また発表できる演題は、1人1題までとする。</p> <p>(5) 大会の運営は大会委員長が行う。</p> <p>(大会と総会の分離開催を可能にするため変更)</p>
<p>附則</p> <p>1. この規程は、2020年4月1日から施行する。</p>	<p>附則</p> <p>1. この規程は、2020年4月1日から施行する。</p> <p>2. この規程は、2023年4月1日から施行する（令和5年度定時総会（2023年3月27日）において、第2条第3項を修正）。</p> <p>(修正日を追加)</p>

第3号議案 令和5年度役員(理事)選任の件

令和5年度の役員候補者は、以下の通りです。

(1) 役員候補者選出規程第3条の規定による「理事候補者(次期会長候補者)」

平塚和之

(2) 役員候補者選出規程第4条の規定による「理事候補者(次期副会長候補者)」

一瀬勇規

(3) 役員候補者選出規程第2条第2項の規定による「理事候補者」

増田 税, 高橋英樹, 眞岡哲夫, 中島 隆, 有江 力,
瀧川雄一, 高野義孝, 竹下 稔

日 岡山大学(岡山市)

10) 第15回植物病害診断研究会: 令和5年秋予定 開催場所未定

11) EBC研究会ワークショップ2023: 令和5年9月頃 開催場所未定

12) 第17回植物病害診断教育プログラム: 令和5年9月4日~8日 岐阜大学

(3) 定時総会: 令和5年3月 令和4年度事業報告・決算承認および令和5年度理事選任

理事会: 令和5年度第1回(令和5年2月)定時総会議案審議

令和5年度第2回(令和5年3月)代表理事選任

令和5年度第3回(令和5年11月)令和6年度事業計画・予算承認

評議員会: 令和5年度第1回(令和5年2月)定時総会議案審議

令和5年度第2回(令和5年3月)令和5年度委員等選任

令和5年度第3回(令和5年11月)令和6年度事業計画・予算承認

(4) 学会賞, 学術奨励賞, 論文賞等の選考を行う。

(5) 大会において学生優秀発表賞の選考を行う。

(6) 名誉会員, 永年会員の推挙を行う。

(7) 令和6年度理事候補者(次期副会長候補者)および令和6~7年度の監事候補者の選出を行う。

(8) 令和6年度理事候補者(次期会長候補者, 次期副会長候補者)を総会へ推薦し, 次期会長候補者, 次期副会長候補者として理事会への推薦を行う。

(9) 令和6~7年度評議員候補者の選出を行う。

(10) 日本農学賞, 日本農学進歩賞, 日本学術振興会賞等の受賞候補者の推薦を行う。

(11) その他

報告事項第1号 令和5年度事業計画書ならびに収支予算書

1. 行事案

(1) 学会報(英文誌第89巻1~6号, 和文誌第89巻1~4号)を発行する。

(2) 大会, 部会, 談話会, 研究会等を開催する。

1) 大会: 令和5年3月27~29日 東京農業大学(厚木市)

2) 北海道部会: 令和5年10月12~13日 北海道大学(札幌市)

3) 東北部会: 令和5年9月中~下旬 弘前大学(弘前市)

4) 関東部会: 令和5年9月頃 玉川大学(東京都)

5) 関西部会: 令和5年9月23~24日 近畿大学農学部(奈良市)

6) 九州部会: 令和5年11月頃 長崎県内を予定

7) 第32回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム: 令和5年3月30日 東京農業大学(厚木市)(大会がオンラインの場合, オンライン開催)

8) 第22回植物病原菌類談話会: 令和5年3月29日 東京農業大学(厚木市)(大会がオンライン開催の場合, 4月以降にオンライン開催予定)

9) 第57回植物感染生理談話会: 令和5年9月4日~6

2. 予算案

(1) 一般会計収支予算書（令和5年1月1日から令和5年12月31日まで）

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	16,369,000	19,869,000	△ 3,500,000
正会員会費収入	9,409,000	11,900,000	△ 2,491,000
学生会員会費収入	420,000	1,116,000	△ 696,000
学部生会員会費収入	20,000	23,000	△ 3,000
外国会員会費収入	30,000	160,000	△ 130,000
準会員会費収入	1,440,000	1,470,000	△ 30,000
賛助会員会費収入	5,050,000	5,200,000	△ 150,000
会報刊行収入	2,540,000	6,060,000	△ 3,520,000
頒布収入	2,420,000	2,440,000	△ 20,000
広告料収入	120,000	120,000	0
著者負担金収入	0	3,500,000	△ 3,500,000
事業収入	9,837,000	11,911,000	△ 2,074,000
大会運営収入	5,750,000	6,930,000	△ 1,180,000
部会収入	2,164,000	1,511,000	653,000
談話会・研究会収入	1,443,000	2,740,000	△ 1,297,000
教育プログラム収入	480,000	730,000	△ 250,000
雑収入	252,000	252,000	0
預金利息収入	2,000	2,000	0
雑収入	250,000	250,000	0
事業活動収入計	28,998,000	38,092,000	△ 9,094,000
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	9,010,000	15,240,000	△ 6,230,000
印刷製本費支出	4,910,000	11,160,000	△ 6,250,000
編集費支出	4,100,000	4,080,000	20,000
事業支出	10,995,000	13,100,000	△ 2,105,000
大会支出	5,450,000	6,930,000	△ 1,480,000
部会支出	2,800,000	2,140,000	660,000
談話会・研究会支出	1,835,000	3,170,000	△ 1,335,000
教育プログラム支出	910,000	860,000	50,000
学術奨励関係費支出	710,000	730,000	△ 20,000
国際学術交流費支出	300,000	150,000	150,000
情報電子化費支出	1,049,000	810,000	239,000
HP 充実費支出	400,000	430,000	△ 30,000
情報維持費支出	649,000	380,000	269,000

男女共同参画支援費支出	200,000	0	200,000
負担金支出	640,000	640,000	0
男女共同参画学協会連絡会負担金支出	10,000	10,000	0
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
日本農学会負担金支出	120,000	120,000	0
植物保護科学連合負担金支出	50,000	50,000	0
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金支出	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP) 負担金支出	260,000	260,000	0
事業運営費支出	920,000	1,720,000	△ 800,000
会議費支出	250,000	400,000	△ 150,000
旅費交通費支出	200,000	750,000	△ 550,000
各種委員会関係費支出	470,000	570,000	△ 100,000
管理費支出	5,005,000	5,129,000	△ 124,000
通信運搬費支出	300,000	400,000	△ 100,000
消耗品費支出	180,000	150,000	30,000
事務管理費支出	3,190,000	3,190,000	0
印刷費支出	150,000	99,000	51,000
外部監査管理費支出	300,000	300,000	0
雑支出	885,000	990,000	△ 105,000
事業活動支出計	28,829,000	37,519,000	△ 8,690,000
事業活動収支差額	169,000	573,000	△ 404,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	5,000,000	△ 5,000,000
学術事業安定化基金	0	5,000,000	△ 5,000,000
学術奨励基金	0	0	0
国際学術交流基金	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	5,000,000	△ 5,000,000
投資活動収支差額	0	△ 5,000,000	5,000,000
III 財務活動収支の部			
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	169,000	△ 4,427,000	4,596,000
前期繰越収支差額	11,838,277	14,683,372	△ 2,845,095
次期繰越収支差額	12,007,277	10,256,372	1,750,905

3. 学会報編集計画案

(1) 編集機関

学会報第 89 巻の編集は、英文誌 (Journal of General Plant Pathology), 和文誌 (日本植物病理学会報 Japanese Journal of Phytopathology) とともに下記のように東北大学にて行う。

編集事務局：東北大学大学院農学研究科

編集委員長：高橋英樹 (東北大学)

編集副委員長：長谷 修 (山形大学)

編集幹事長：宮下脩平 (東北大学)

印刷：英文誌 Springer Nature Singapore Pte Ltd.
和文誌 中西印刷 (株)

発行日：英文誌 1号1月, 2号3月, 3号5月,
4号7月, 5号9月, 6号11月
和文誌 1号2月, 2号5月, 3号8月,
4号11月

(2) 投稿要領

和文誌原稿は、投稿規定・細則にしたがって作成し、本文及び表・図の電子ファイル、必要事項を記入した和文投稿票ファイル*を付して、編集委員会 (jgpp-jjp@grp.tohoku.ac.jp) 宛に電子メールで送付すること。

(*投稿票ファイルは http://www.ppsj.org/journal-submission_procedure.html よりダウンロードすること。)

英文誌については、ウェブサイト <https://www.editorialmanager.com/jgpp/> にアクセスして投稿すること。

一般社団法人日本植物病理学会令和 5 年度第 2 回理事会議事録

日時：令和 5 年 3 月 27 日 (日) 午前 9:35~9:50

開催場所：日本植物防疫協会会議室 〒114-0015 東京都北区中里 2-28-10

出席者

理事：増田 税, 平塚和之, 高橋英樹, 眞岡哲夫, 中島隆, 有江 力, 瀧川雄一, 高野義孝, 一瀬勇規, 竹下稔

以上理事 10 名 (現員 10 名, 欠席者 0 名)

監事：濱本 宏, 三田 (渡辺) 京子, 大島研郎

以上監事 3 名 (現員 3 名, 欠席者 0 名)

オブザーバー：宮田伸一, 大里修一, 晝間 敬, 藤川貴史, 石橋和太, 煉谷裕太郎 (幹事 6 名)

※増田 税, 平塚和之, 濱本 宏, 大島研郎, オブザーバー 5 名 (宮田伸一, 大里修一, 晝間 敬, 藤川貴史, 石橋和太) を除く各理事, 監事, オブザーバーはテレビ会議システムにより遠隔地より出席

審議事項

第 1 号議案 代表理事 (会長および副会長) の選定の件

報告事項

第 1 号 代表理事の職務執行状況の報告

第 2 号 令和 5 年度 第 1 回理事会議事録の確認

議事経過の概要

定刻になり、理事 10 名, 監事 3 名が参加していることを確認した。

平塚和之理事より、直前に開催された令和 5 年度定時総会にて理事選定後、すぐの理事会開催であるため、理事会招集周知を省略することの承認を求めたところ、理事、監事全員の黙示により承認された。

理事 10 名の互選により、平塚和之氏が議長となった。挨拶の後、理事および監事の出席数から、定款 33 条の規定を満たしており、本会の成立を報告した。続けて議長は、本理事会は一部テレビ会議システム (オンライン会議システム) を用いて開催することを説明し、かつ出席者の映像及び音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な審議を行うことができる状態となっていることが確認された。

1. 第 1 号議案 代表理事 (会長および副会長) の選定の件
議長の指示により、前会長の増田 税氏より、定款第 29 条および役員候補者選出規程第 3 条の規定により、理事会に代表理事 (会長) として平塚 和之氏を推薦し選定したきこと、また、役員候補者選出規程第 4 条の規定により、代表理事 (副会長) として一瀬勇規氏を推薦し選定したきことが説明された。

審議の後、議長が本件の承認を求めたところ、出席理事は全員異議なくこれに賛成の意を示したので、本議案は原案どおり承認可決された。平塚 和之氏ならびに一瀬 勇規氏も、それぞれ席上就任を承諾したので、代表理事 (会長) ならびに代表理事 (副会長) の選定を確定した。

2. 報告事項

議長より、職務の執行状況として、令和 5 年度の事業計画に沿って遅滞なく事業計画を進めていることが説明された。また、議長の指示により、オブザーバーの宮田伸一氏より令和 5 年度第 1 回理事会議事録の報告が行われた。

以上をもって、一部テレビ会議システムを使用した本理事会は終始異状無く議事を終了したので、議長は閉会を宣言し、午前 9:50 散会した。

上記の事項を明確にするため、議長が本議事録を作成し、

出席代表理事 2 名 理事 8 名および監事 3 名の全員がこれに記名押印する。

令和 5 年 3 月 27 日

一般社団法人 日本植物病理学会

代表理事 (会長)	平塚和之
代表理事 (副会長)	一瀬勇規
監事	濱本 宏
監事	三田 (渡辺) 京子
監事	大島研郎
理事	増田 税
理事	高橋英樹
理事	眞岡哲夫
理事	中島 隆
理事	有江 力
理事	瀧川雄一
理事	高野義孝
理事	竹下 稔

日本植物病理学会 令和 5 年度第 2 回評議員会議事録

日 時：令和 5 年 3 月 27 日 (月) 13:00~13:35

開催場所：オンライン開催 (Zoom 会議)

出席者：

秋光和也, 有江 力, 一瀬勇規副会長, 岩波 徹, 大島一里, 大島研郎, 大藤泰雄, 兼松聡子, 菊武和彦, 北宜裕, 久保康之, 児玉基一朗, 小林括平, 佐藤 衛, 塩見 寛, 宍戸雅宏, 志村華子, 須賀晴久, 鈴木信弘, 高垣真喜一, 高野義孝, 高橋英樹, 瀧川雄一, 竹下 稔, 竹本大吾, 中馬いづみ, 柘植尚志, 津田新哉, 東條元昭, 土佐幸雄, 中島 隆, 中島千晴, 中保一浩, 長谷 修, 濱本 宏, 曳地康史, 平塚和之会長, 藤 晋一, 古屋成人, 堀田治邦, 眞岡哲夫, 増田 税, 三瀬和之, 守川俊幸, 森山裕充, 山次康幸, 吉田重信, 大里修一庶務幹事長

以上評議員 48 名

幹事：宮田伸一前庶務幹事長, 藤川貴史前庶務幹事, 石橋和太庶務幹事, 晝間敬前会計幹事, 煉谷裕太郎会計幹事

令和 5 年度第 2 回評議員会をオンライン開催し, 以下の審議事項について審議し承認された。なお役員および委員名簿については 4 月 17 日に一部修正の後承認された。

I. 審議事項

- 令和 5 年度 日本学術振興会賞推薦候補者の選定について
令和 5 年度日本学術振興会賞候補者に小松 健氏を推薦することが承認可決された。
- 令和 5 年度 委員等の選任について
令和 5 年度役員および委員について資料に基づいて説明され, 4 月 17 日に一部修正も報告され承認された。
- 学会運営方針諮問委員会の設置について
法人化対応を含め円滑な学会運営の指針となる学会マニュアルを整理, 改訂する作業委員会として, 当該委員会を設置することが承認可決された。
- 令和 6 年度 日本植物病理学会大会の開催地・時期について
令和 6 年度の日本植物病理学会大会は仙台国際センターにおいて令和 6 年 3 月 13 日から 15 日に開催される予定であると報告され, 承認された。
- 学会ホームページ上でのバナー広告掲載について
バナー広告の掲載に関する掲載基準, 広告掲載の中止, 免責等に関する「バナー広告細則 (案)」について報告され, 承認された。

II. 報告事項

- JGPP の投稿規定の改定等について (高橋英樹 編集委員長)
Springer より Research Data Policy の策定を推奨しているとの説明があり, JGPP は「Type 1」を採用し, 投稿規定を改訂することについて報告された。
日植病報の投稿細則について文言の改訂案が報告された。
JGPP の査読システム登録情報の更新について, 会員にメールで周知することが報告された。
- JGPP のレフェリーに対する感謝状の贈呈について
JGPP ならびに日本植物病理学会報のレビューのインセンティブを高めるため, 令和 4 年度のレビューを両誌合わせて 3 回以上行った 8 名に, 会長および編集委員長より感謝状を贈呈することが報告された。対象者氏名は以下の通り。上田重文, 佐藤豊三, 月星隆雄, 服部友香子, 日恵野綾香, 廣岡裕史, 望月知史, 八重樫元 (敬称略, 五十音順)。

令和 5 年度役員および委員

会 長 平塚和之
副会長 一瀬勇規
評議員 (◎理事)

北海道地区 ◎増田 税 近藤則夫 堀田治邦

東北地区 ◎高橋英樹 藤 晋一 長谷 修
磯貝雅道

北関東地区 ◎眞岡哲夫 ◎中島 隆 吉田重信
兼松聡子 中保一浩 大藤泰雄
青木孝之

南関東地区 ◎有江 力 ◎平塚和之 渡辺京子
山次康幸 北 宜裕 大島研郎
津田新哉 濱本 宏 森山裕充
宍戸雅宏

中部地区 ◎瀧川雄一 柘植尚志 中島千晴
須賀晴久 守川俊幸 竹本大吾

近畿地区 ◎高野義孝 久保康之 土佐幸雄
三瀬和之 東條元昭

中国・四国地区 ◎一瀬勇規 曳地康史 児玉基一朗
秋光和也 鈴木信弘 小林括平

九州地区 ◎竹下 稔 大島一里 岩井 久
古屋成人

編集委員長 高橋英樹

庶務幹事長 大里修一

会長指名 岩波 徹 金山晋治 菊武和彦
佐藤 衛 塩見 寛 高垣真喜一
志村華子 中馬いづみ

監事 濱本 宏 大島研郎 渡辺京子

原著編集委員 (◎委員長, ○副委員長)

◎高橋英樹 ○長谷 修

Bogdanove, A. J. 中馬いづみ

Day, B. Dou, D. 藤川貴史

飯田祐一郎 池田健一 今崎伊織

海道真典 小松 健

Kormelink, R. 窪田昌春 松下陽介

中保一浩 Pieterse, C. M. J.

Preston, G. M. 佐橋憲生

佐藤 衛 関根健太郎 清水将文

竹下 稔 竹内香純 田中和明

富高保弘 植原健人 宇佐見俊行

渡辺京子 Yun, S.-H.

賞選考委員 (◎委員長)

◎平塚和之 一瀬勇規 瀧川雄一

増田 税 岩井 久 土佐幸雄

津田新哉

功績者推薦委員 (◎委員長)

◎有江 力 一瀬勇規 岩井 久

土佐幸雄

選挙管理委員 (◎委員長)

◎北 宜裕 山次康幸 宮田伸一

病名委員 (◎委員長)

◎佐藤 衛 青木孝之 藤 晋一

廣岡裕吏 井上康宏 岩井 久

窪田昌春 升屋勇人 松下範久

三澤知央 望月知史 森脇丈治

夏秋啓子 笹谷孝英 篠原弘亮

菅原 敬 須崎浩一 竹内 純

田中栄爾 達 瑞枝 月星隆雄

植原健人 山内智史 秋野聖之

幹事

庶務幹事長 大里修一

庶務副幹事長 染谷信孝

庶務幹事 石橋和大 富高保宏

会計幹事 煉谷裕太郎

副会計幹事 北沢優悟

編集幹事長 宮下脩平

編集幹事 安藤杉尋 千秋祐也 深田史美

橋本将典 石賀康博 岩井孝尚

小林 隆 宮野法近 中村茂雄

煉谷裕太郎 岡野夕香里 染谷信孝

八重樫元

専門委員会 (◎委員長)

学会ニュース編集委員会

◎門田育生 染谷信孝 大里修一

石橋和大

植物ウイルス分類委員会

◎鈴木信弘 藤 晋一 畑谷達児

岩波 徹 鍵和田聡 近藤秀樹

望月知史 笹谷孝英 津田新哉

山次康幸 キム オッキョン

薦田優香 久保田健嗣

国際化対応委員会

◎有江 力 濱本 宏 曳地康史

平塚和之 近藤則夫 柘植尚志

秋光和也 高野義孝

将来問題検討委員会

◎平塚和之 一瀬勇規 大里修一

染谷信孝 煉谷裕太郎 宮田伸一

晝間 敬 藤川貴史 宮下脩平

中馬いづみ 志村華子 橋本将典

教育プログラム推進委員会

◎一瀬勇規 藤 晋一 須賀晴久

石橋和大

技術士対応委員会

◎濱本 宏 山次康幸 藤川貴史
渡邊 健 栢森美如 染谷信孝
北沢優悟

5学会技術士育成推進委員会

◎濱本 宏 佐藤 衛 山次康幸
北沢優悟

JABEE 対応委員会

◎濱本 宏 有江 力 岩井 久
増田 税 大里修一 大島一里
宍戸雅宏 高橋英樹 土佐幸雄
豊田和弘

男女共同参画推進委員会

◎兼松聡子 岡野夕香里 志村華子
中馬いづみ 橋本将典
キム オッキョン 荒添貴之

学会運営方針諮問委員会

◎山次康幸 増田 税 土佐幸雄
大島研郎 宮田伸一

部会長

北海道部会長 奈良部孝
東北部会長 磯貝雅道
関東部会長 渡辺京子
関西部会長 鈴木信弘
九州部会長 稲田 稔

日本学術会議・日本農学会・国際学会等の委員

日本学術会議 連携会員 渡辺京子 上田一郎
日本植物保護科学連合運営委員会 運営委員
大里修一 北沢優悟
日本微生物学連盟 (FMSJ) 理事 山次康幸
一般社団法人日本農学会

評議員 平塚和之 一瀬勇規
運営委員 大里修一

公益財団法人農学会 農学教育推進委員 濱本 宏
国際微生物連合 (IUMS)

対応委員 一瀬勇規

ウイルス分類委員 鈴木信弘

細菌命名委員 瀧川雄一

国際植物保護科学会 (IAPPS) 東北アジア地区理事

有江 力

国際植物病理学会 (ISPP)

Council Members 秋光和也 有江 力 高橋英樹

一瀬勇規

Correspondent for Newsletter

高橋英樹

Members of Committee

Bacteriology

一瀬勇規

Epidemiology

川口 章

Fusarium

青木孝之

Phytophthora

東條元昭

Rhizoctonia

荒川征夫

Soilborne Plant Pathogens

宍戸雅宏

アジア植物病理学会 (AASPP)

Vice President

有江 力

令和5年度大会運営委員会

大会委員長: 岩波 徹

プログラム委員長: 津田新哉

運営委員: 井村喜之 宇賀博之 宇佐見俊行 大里修一

岡本昌広 キム オッキョン 久保周子 小松 健

篠原弘亮 津田新哉 夏秋啓子 星 秀男 松浦貴之

本橋慶一 山次康幸 横田健治 吉田沙樹 渡辺京子

(50音順)

名誉会員および永年会員

名 誉 会 員

阿久津克己	道家紀志	遠藤武雄	後藤正夫	日比忠明	平野和弥	本田雄一	堀野 修	百町満朗
飯田 格	稲葉忠興	加来久敏	加藤 肇	甲元啓介	小島 誠	久能 均	桑田 茂	松山宣明
眞山滋志	内藤繁男	難波成任	生越 明	大木 理	奥田誠一	奥野哲郎	大内成志	佐古宣道
四方英四郎	白石友紀	高橋 壯	寺中理明	土屋健一	土崎常男	露無慎二	上田一郎	渡辺 實
山田昌雄	米山勝美							

(会員番号順)

永 年 会 員

舟山広治	濱屋悦次	原田幸雄	部田英雄	平塚利子	堀尾英弘	一谷多喜郎	家城洋之	飯嶋 勉
池上八郎	稲垣公治	井上成信	石島 嶺	岩田道頭	門脇義行	要 司	金子俊彦	神澤克一
粕山新二	勝部利弘	菊本敏雄	木村俊夫	小林尚志	児玉不二雄	久保 進	倉橋良雄	牧野 精
牧野孝宏	益子道生	松本 勲	松本 勤	宮島邦之	森田 昭	本吉總男	長井雄治	名畑清信
内藤秀樹	根本正康	贄田裕行	西村典夫	野村幸彦	野津幹雄	小川 奎	大橋祐子	大沢高志
太田光輝	岡本 博	大島俊市	尾崎政春	齋藤 泉	坂本 庵	柴田幸省	下村 徹	角名郁郎
周藤靖雄	但見明俊	高桑 亮	玉田哲男	丹田誠之助	鳥山重光	土屋貞夫	宇田川晃	植松 勉
宇杉富雄	渡邊恒雄	山本孝孫	横山佐太正	吉村大三郎	善林六朗			

(会員番号順)